プラネットフォール

PLANETFALL™



SystemSoft

1．はじめに確認してください

1．製品の内容

本製品には以下のものが入っています。開封の際にご確認ください。

1．ゲームディスク	1枚
2．ユーザーズマニュアル	1冊
3．手紙	1式
4．アンケートはがき／ソフトウェア保証書	1枚

2．動作環境

■PC−9801N／NS／NV
PC−9801VF／VM／VX／RA／RS／RX／DA／DS／DX
PC−9801UV／UX／LV／CV／ES／EX／UR／UF／CS
PC−9801DO／DO＋

●NEC製MS−DOSシステム（Ver 2．11、Ver 3．10、またはVer 3．30／A／B／C／D）が必要です。
●アナログRGB対応専用高解像度ディスプレイ（640×400ドット）をお使いください。（デジタルRGBには対応しておりません）
●640KB以上のRAMが必要です。
●PC−9801／U／E／F／Mでは使用できません。
●PC−9801VF／VM 2では16色グラフィックボード（PC−9801−24）が必要です。
●PC−9801 Fでは外付の1MBタイプのディスクユニットが必要です。
●本製品はハードディスクでの使用を保証しておりません。

2．ゲームを始める前に（MS－DOSの組み込み）

初めて『プラネット・フォール』で遊ぶ場合、ゲームディスクにMS－DOSのシステムを組み込む必要があります。

◆MS－DOSの起動

システムを組み込む前に、MS－DOS起動の手順を説明しておきます。
操作手順は以下の通りです。

【操作】

①周辺機器、本体の順に電源を入れます。

《注意》　ディスクをセットした状態で電源を入れると、ディスクの内容が壊れる恐れがあります。必ず電源を入れてからディスクをセットしてください。

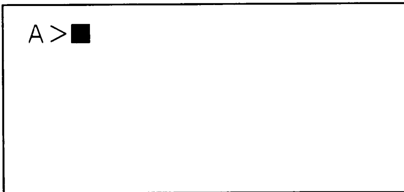
②MS－DOSのシステムディスクをドライブA（1と番号がついた方）にセットします。
しばらくするとＭＳ－ＤＯＳのシステムが起動します。
※ここで、システムが起動しない場合はリセットボタンを押して下さい。

③Ver 3．30C以降のMS－DOSをご使用の場合、「インストールコマンド」画面が表示されます。それ以外のMS－DOSをご使用の場合には、「MS－DOSのコマンドメニュー」画面または、日付の入力状態になります。それぞれ必要な操作をおこなって図1のような状態にしてください。

●インストールコマンド画面
[ESC] キーを押して「はい」を選択し、ＭＳ－ＤＯＳのコマンドメニューを表示させます。[STOP] キーを押します。

●MS－DOSのコマンドメニュー
[ＳＴＯＰ] キーを押すか、[CTRL] キーを押しながら [C] キーを押してください。

●日付入力メッセージ
「日付の入力をしてください」と表示されたら、⏎キーを2回押します。



④以上でMS−DOSのシステムが起動しました。このままの状態でMS−DOSの組み込みを行います。

◆MS−DOSの組み込み

①MS−DOSのシステムを組み込むには「SYSCOPY」コマンドを使用します。操作手順は以下の通りです。

【操作】

①MS−DOSが起動しているのを確認し、ドライブB（2と番号のついた方）に『プラネット・フォール』のゲームディスクを差し込みます。

《注意》　この時、5インチのディスクの場合はプロテクトシールをはがしておきます。3.5インチの場合、プロテクトノッチを書き込みのできる状態（穴がふさがっている状態）にしておきます。

②画面が以下のように表示されていることを確認してから、下線部を入力します。

A>B:⏎
B>SYSCOPY⏎

③この時、ディスプレイに表示されるメッセージに従い、ドライブAにMS−DOSのシステムディスク、ドライブBにゲームディスクが入っていることを確認します。
④もう一度リターンキーを押すと、MS−DOSの組み込みが開始されます。
⑤以上でMS−DOSの組み込みが終了しました。

◆ユーザーディスクの作成

『プラネット・フォール』では、ゲームディスクに保存できるゲームデータは５つまでです。５つ以上のゲームデータを保存したい方、あるいはゲームディスクに保存したくないという方は、フォーマット済みのディスクが必要となります。ここでは、ディスクのフォーマット方法について説明しておきます。データの保存方法は「8．保存と終了（P．26）」を参照してください。

【操作】

①「MS－DOSの起動」の手順に従って、MS－DOSを起動させ、入力待ちの状態（A＞と表示される）にします。

②ドライブBに、新しいディスク、もしくは内容の失われてもいいディスクをセットします。

《注意》 ゲームディスクは絶対にセットしないでください。

③画面が以下のように表示されていることを確認してから、下線部を入力します。

Ａ＞FORMAT　Ｂ：↵

④以下のようにディスクの種別を聞いてきます。

新しいディスクをドライブBに挿入し
どれかのキーを押してください。
ディスクのタイプは　１：６４０（ＫＢ）　２：１（ＭＢ）
（このメッセージはMS－DOSのバージョンによって多少異なります）

⑤この画面が表示されたら、「２」を入力してください。フォーマットを開始します。フォーマット作業が終了すると、以下のようなメッセージが表示されます。

フォーマット中です………フォーマットが終了しました。
　××××××　バイト　全ディスク使用量
　××××××　バイト　使用可能ディスク容量
別のディスクをフォーマットしますか（Ｙ／Ｎ）？

⑥Nを入力して、フォーマットの作業を終えます。以上でユーザーディスクの作成を終了しました。

3．『プラネット・フォール』の概要

基本は文字入力

『プラネット・フォール』は、一言でいうなら、“文字遊びゲーム”です。

表示される情報をたよりに、想像力、あるいは推理を働かせてください。

疑問点、あるいは行いたいことを入力することにより、新たな展開が起こったり、新しい情報が得られたりします。進みたい方向の名称を入力することにより移動できます。取りたい物があったら「＊＊を取る」と入力すればＯＫ、といった具合です。

ただし、『プラネット・フォール』が理解できる言葉には、ある程度の制限があります。詳しくは「7．『プラネット・フォール』とのコミュニケーション（P．23)」を参照してください。

◆ゲームの目的

漂着した惑星からなんとか脱出することが、ゲームの目的です。

『プラネット・フォール』では、あなたの進み具合を計るために得点を記録しています。謎を解いたり、宝物を手に入れたり、ある行動を起こしたり、ある場所に足を踏み入れたりした時に得点が加算されます。“殺された”場合は罰則もあります。

80点獲得すると、ゲームの終了となります。

◆主役はあなた

『プラネット・フォール』の主役はあなたです。

あなた自身の思考と想像力がキャラクターの行動を決め、物語を初めから最後まで導いていきます。

『プラネット・フォール』は、いろんな場所、アイテム、キャラクター、そして出来事を提供します。あなたはさまざまな方法で、それらを関連づけ、問題を解決していきます。

冒険を始めるにあたっては、すべての場所を検討して説明をよく読み、環境に慣れておくといいでしょう。簡単な地図を描いておくと役にたちます。

◆謎解き

『プラネット・フォール』の重要な要素に“謎解き”があります。

ときには、鍵のかかった扉や、凶暴な野獣が登場します。これらは、とても突破できない障害のように思われるかもしれませんが、それは単に謎解きへの挑戦なのです。

謎によっては、なんらかのアイテムを持ち込んで、それを正しく使わなければ解けないものもあります。

◆時間の進み方

『プラネット・フォール』では、あなたが入力するまでは時が止まっています。

文章を入力してリターンキーを押すまでは何も起こりませんから、進路をいくらでもゆっくり慎重に検討することができます。

4．『プラネット・フォール』を活用する8項目

ここでは、初めて『プラネット・フォール』をプレイされる方のために、8つの秘訣を紹介しておきましょう。

1．地図を描く

それぞれの場所、そこから隣接している場所や興味深い物体に通ずる順路も描き込みます。

進行可能な方向は10あり、さらに「入る」と「出る」が加わることを忘れないでください。また、通路によっては途中でねじれたり曲がったりするので、場所Aから場所Bへ行くために北へ行ったとしても、場所Aに戻るためには南へ行けばいいとは限りません。

2．アイテムを大切にする

あなたが手に入れるアイテムは、謎解きの方法として、とても重要です！不用意に捨てたりしないようにしてください。

3．こまめに保存する

常にゲームデータを保存しておいてください（P．28参照)。そうすれば、失敗しても、“死んでも”始めからやり直す必要はありません。

4．注意深く読む

ゲーム中に表示されるメッセージは、注意深く読んでください。

ラベルや刻み文字や本などのように、場所や品物の説明の中にしばしば“謎とき”の糸口があるからです。奇妙だったり、危険だったりするような行動からも糸口がつかめるかもしれません。案外楽しいかもしれませんよ！

一つ楽しい例を紹介しておきましょう。

………

大口をあけた熊があなたに向かって襲いかかってきます。

>サンドイッチを投げる

あなたの投げたサンドイッチは、うまい具合に熊の口の中に入ります。

びっくりした熊は、しばらく口をもごもごさせたかと思うと、お腹をかかえてうずくまりました。どうやらあなたの投げたサンドイッチは、賞味期限が切れていたようです。

5．解く謎は一つとはかぎらない

あなたが今までに経験したかもしれない、他の“アドベンチャー・ゲーム”とは違って、『プラネット・フォール』の最後にたどりつくにはたくさんのルートがあります。

答えが二つ以上ある謎もあれば、解く必要のない謎もあります。一つの謎を解くために必要なアイテムなり情報なりを得るために、別の謎を一つ解かねばならない場合もあります。

6．複数で挑戦する

友達と一緒に探検してみるのも有効かもしれません。知恵を出し合えば、助け合うことができます。

7．ヒントを参照する

もしどうしても歯がたたないようであれば、オンラインヒント（[ＨＥＬＰ] キーを押してください）によってヒントを見るのも一計です。（ただし、得点によって回数制限があります）ヒントは物語を楽しむためには不必要ですが、謎が解きやすくなります。

8．コマンドの書き方を把握する

たとえば、バッテリーランプを灯す時、以下のどれでも使えます

＞点灯
＞ランプを灯す
＞ランプを点ける
＞ランプを起動する
＞バッテリーランプを点ける

5.『プラネット・フォール』の起動

◆ゲームの起動

それでは、いよいよ『プラネット・フォール』を起動します。起動は以下の手順で行ってください。

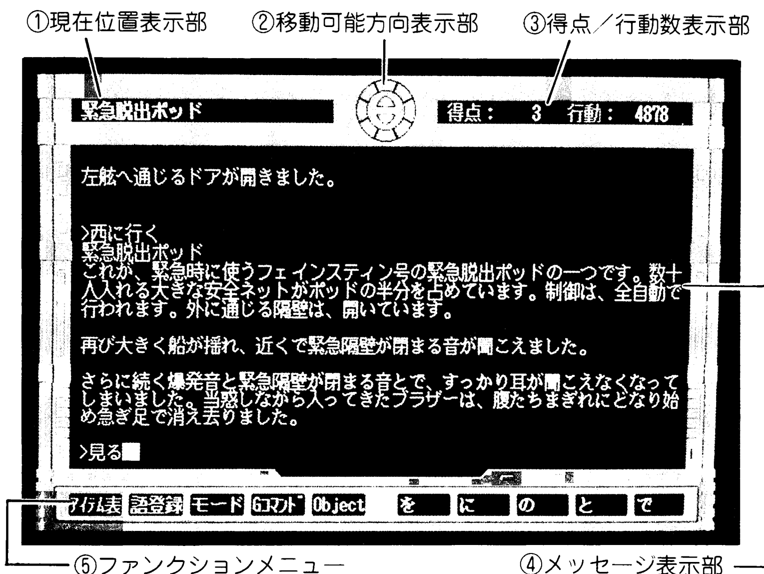
【操作】

①周辺機器、本体の順に電源を入れます。
②ドライブA（1）にゲームディスクを挿入します。

《注意》 ディスクをセットした状態で電源を入れると、ディスクの内容が壊れる恐れがあります。必ず電源を入れてからディスクをセットしてください。

③リセットボタンを押します。
④使用するモニターを聞いてきますので、アナログディスプレイの方は『アナログ』を、モノクロ表示のラップトップパソコンを使用されている方は『モノクロ』を選択してください。
⑤ゲーム画面が表示されます。

◆ゲーム画面



1．現在位置表示部
現在あなたがいる場所が表示されます。

2．移動可能方向表示部
あなたがいまいる場所から移動可能な方向（8方向と上下）が表示されます。ただし、見つかっていない秘密の抜け道や鍵のかかったままのドア、橋のこわれた道路などは移動可能な方向とはみなされません。

3．得点／行動数表示部
現在までの得点数と行動数が表示されます。

4．メッセージ表示部
『プラネット・フォール』からの情報と、あなたの入力した文字が表示されます。文字の入力方法については「6．文字の入力方法（P．24)」を参照してください。

5．ファンクションメニュー
ゲームデータの保存から固有名詞の一覧まで、さまざまなメニューが表示されています。

◆ファンクションキーのメニュー

● **［f・1：アイテム表］**
現在持ってるアイテムがイラストで一覧表示されます。表示されたアイテムを選択することにより、その名称を自動入力することができます。

【操作】

①［f・1］キーを押します。
②現在持っているアイテムがイラストで一覧表示されます。
③カーソルキーでアイテムを選択して、リターンキーを押すと、選択したアイテムの名称が自動入力されます。
④そのままゲーム画面に戻ります。

● 【f・2：語登録】

ファンクションキーに登録されている文字列を再登録します。

登録可能なファンクションキーは、［f・6］～［f・10］、［SHIFT］＋［f・1］～［f・10］です。

【操作】

①［f・2］キーを押します。
②現在ファンクションキーに登録されている文字列が一覧表示されます。
③カーソルキーで再登録したいキーを選択します。
④任意の文字を入力し、リターンキーを押します。
⑤文字が登録されます。
⑥［ESC］キーを押すとゲーム画面に戻ります。

● 【f・3：モード】

ゲーム環境を変更します。

［f・3］キーを押すと、以下のようなメニューが表示されます。

カーソルキーの［↑］［↓］でハイライトバーが移動します。設定を変更したい項目に合わせてリターンキーを押してください。選択したモードの右側に◇が表示されます。

≪ゲームモードメニュー≫

ゲームモード	
表示モード 簡潔 ◇普通 詳細	……情報の表示状態を設定します。 通常は「簡潔に表示する」に設定されています。
ゲーム印刷 する ◇しない	……ゲームデータを印刷します。通常は「印刷中止」に設定されています。
ゲーム記録 する ◇しない	……メッセージをテキストファイルとしてディスクに保存します。通常は「記録中止」に設定されています。
辞書ドライブ	……ＶＪＥ-βの辞書をＲＡＭドライブなどに送り込む時に使用します。

・表示モードの設定

〇簡潔

どのような場所に行っても、まわりの様子は表示されません。自分がいる場所の様子を知るためには、「見る」のコマンドを実行してください。

〇普通

初めて行った場所では、その場所の様子が説明されます。２回目からは場所の名前が表示されるだけです。もう一度まわりの様子が知りたくなったら「見る」のコマンドを実行してください。

〇詳細

どの場所に何度行っても、そのつどまわりの様子が表示されます。

・ゲーム印刷の設定

パソコンとプリンタをつないで「する」に設定すると、ゲーム状況が順次印刷されていきます。

《注意》　このモードで印刷が可能なのはＰＲ２０１系のみです。ただし、プリントアウト機能に関しては、ワープロ、データベース等の一般的なアプリケーションソフトと異なり、プリンタの機種の特定、対応機種ごとの設定は行なっていません。このため、お使いのプリンタで正しく出力されない場合も考えられます。ご注意ください。

機種の対応の他、プリントアウトが正常に行なわれない原因として考えられることの一つは、ワープロ、データベース等のアプリケーションソフト上でプリンタを使用した直後、本体およびプリンタ等の電源を落とさずに、継続して本ソフトウェアを起動した場合です。この場合は、プリンタの電源を入れ直してください。主要な原因としてもう一つ上げられるのは、プリンタにカットシートフィーダを実装している場合です。カットシートフィーダを実装したプリンタで正常に出力されない場合は、カットシートフィーダを左端に移動させてください。

この２点の他に、プリンタが正常に動作しない場合も考えられますが、プリンタの機種、設定等に関するご質問は、原則としてお答えできませんので、ご了承ください。

・ゲーム記録の設定

「する」に設定し、記録するドライブを指定しておくことにより、画面に表示されるメッセージをテキストファイルの形でディスクに記録しておくことができます。ファイル名は「PLANET．TMP」です。テキストファイルを読むことのできるワープロソフトなどを使えば、それまでの行動を画面で見たり、印刷したりすることができます。ただし、これは、あくまでもゲームの進行状況を保存するだけです。ゲームデータ自体を保存したいときは「8．保存と終了（P．30)」を参照してください。

《注意》　ゲーム記録中に、ゲームを終了する場合、必ず「クイット」で終了するようにしてください。「クイット」で終了しなかった場合、メッセージの一部が記録されない場合があります。

・辞書ドライブの設定

PC－9801N／NS／NVなどで、VJE－βの辞書をＲＡＭディスクに送り込みたいときに使用します。メニューを選択すると、辞書を送り込むドライブ名を聞いてきますので、RAMディスクのドライブ名（第１ドライブの指定をFDにしている場合、RAMディスクはBになります）を選択します。

●［f・4：Gコマンド］

ゲームデータの保存、再開など、ディスク関連のコマンドが収められています。

［f・4］キーを押すと以下のようなメニューが表示されます。カーソルキーの［↑］［↓］でハイライトバーが移動します。選択したい項目に合わせてリターンキーを押します。詳細は「8．保存と終了（P．26)」を参照してください。

ロード	…保存されているゲームデータを読み込みます。
セーブ	…ゲームデータを保存します。
リスタート	…ゲームを最初から始めます。
クイット	…ゲームを強制終了します。
スコア	…現在の得点、行動数、冒険者としてのレベルを表示します。

● [f・5：OBJECT]

現在いる場所にある代表的OBJECT（物）の名称が表示されます。

【操作】

①［f・5］キーを押します。
②現在いる場所にある物の一覧が表示されます。

《注意》　物が多い場合、一画面には入り切れない場合があります。その場合はカーソルを下にスクロールさせれば、表示されます。

③選択したい項目にカーソルを合せてリターンキーを押すと、メッセージ入力部に名称が自動入力されます。

● [f・6]～[f・10]、SHIFT+[f・1]～[f・10]

任意の文字が登録されています。文字に対応したファンクションキーを押すことにより、メッセージ入力部に自動入力されます。
《注意》　文字は登録することができます。登録の方法は●［f・2：登録］（P. 13）を参照してください。

◆簡単な参照事項

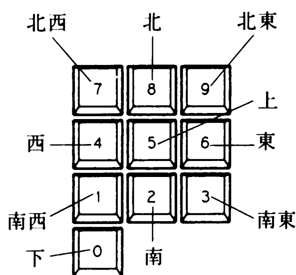
①画面にプロンプト（>）が表示されたら、『プラネットフォール』はあなたの文字入力を待っています。『プラネットフォール』が理解できるコマンドは、大別すると2種類です。

A. 方向コマンド

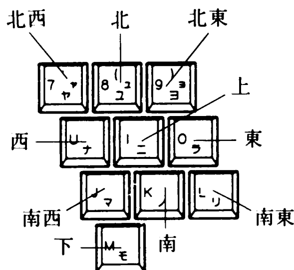
移動したい時には、「北」、「東」、「南」、「西」、「北東」、「南東」、「北西」、「南西」、「上」、「下」、「入る」、「出る」が使用できます。

方向コマンドは、[GRAPH] キー＋テンキー、もしくは [GRAPH] キー＋フルキーにも対応しています。

〈方向コマンド： [GRAPH] キー＋テンキー〉



〈方向コマンド： [GRAPH] キー＋フルキー〉



B．行動コマンド

あなたが行いたいことを、そのまま入力します。例えば「本を読む」、「戸を開ける」、「窓の外を見る」などです。

単純なコマンドに慣れてきたら、「7．『プラネット・フォール』とのコミュニケーション（P．23)」の項で説明したような複雑なコマンドを使ってみましょう。

②画面から消えてしまった表示を再確認したい時は、[ROLL　DOWN] キーを押します。

A．[ROLL　DOWN]

[ROLL　DOWN] キーを押すと、前の画面にスクロールします。

B．[ROLL　UP]

[ROLL　UP] キーを押すと、逆方向にスクロールします。

③一度入力した文字を再入力したい時には、[TAB] キーを押します。前回と同じ文字が入力されます。

④ [HELP] キーを押すと、オンラインヒントが表示されます。ただし、オンラインヒントは、あなたの得点によって見ることのできる回数が制限されます。得点の低いうちは、できる限りヒントを参照しないように心掛けてください。

⑤重要！

文章やコマンドを入力した後は、必ずリターンキーを押してください。

⑥物語に中で見つけたアイテムは、持っていくことができます。

例えば「ネックレスを取る」と入力すると、それを持ち運んでいくことになります。「アイテム」と入力すると、運んでいる物すべてが表示されます。

⑦中断して現在位置を保存したり、最初からやり直したい場合は「◆リスタート（P 29)」を参照してください。

◆ゲームの開始

ゲーム画面が表示されると、まず物語が始まる場所の説明があります。
ゲームに慣れていただくために、ここで簡単な練習をします。まず次のような文章を入力してみてください。

＞デッキブラシで床を磨く
次にリターンキーを押します。
→『プラネット・フォール』はこう答えます。
（床は、幾分かは、光るようになりました。）

では次に、
＞東に行く
リターンキーを押します。
→『プラネット・フォール』はこう答えます。
原子炉のロビー
（廊下は、主動力エリアに近づくにしたがって広くなってきました。右舷には、本船の動力源であるイオン原子炉があり、船尾の方には、補助制御室があります。廊下は、舷窓まで続いています。
完璧に制服を着こなしたブラザー少尉が入ってきて、持ち場を離れているところを見つかってしまいました。「第７階級少尉、減点20！」とブラザーが怒鳴りました。「５分で戻らなかったら減点40！」あなたの大ポカを見つけたブラザー少尉は、恐ろしい顔をしてそう言いました。）

6．文字の入力方法

『プラネット・フォール』では、日本語の文字入力にＶＪＥ－βを使用しています。文字入力は以下の方法で行ってください。

◆入力状態の設定

『プラネット・フォール』では、文字を入力すると同時に、ファンクションキーの表示が以下のように切り替わります。

〔f・1〕	〔f・2〕	〔f・3〕	〔f・6〕	〔f・7〕	〔f・8〕	〔f・10〕	Rかな全K
かな	カナ	英数	かな入力	カナ入力	英数入力	確定	

入力の設定状態は、文字入力と同時にファンクションキーの右端に表示される“かな”の部分で確認できます。通常はひらがなでの入力状態になっています。

入力状態を変更するには、ファンクションキーが上記のように変わっている状態で、以下のようなキーを押します。

①ひらがな入力

ひらがな入力に設定するには［ｆ・6］キーを押します。

②カタカナ入力

カタカナ入力に設定するには［ｆ・7］キーを押します。

③アルファベット入力

アルファベット入力に設定するには［ｆ・8］キーを押します。

◆入力に使用するキー

VJE－βで使用するキーは以下の通りです。

漢字変換	[XEFR]
確定	[f・10]／リターンキー
無変換確定	[NFER]
カーソル移動	[↑][↓][→][←]
文字消去	[BS][DEL]
入力解除	[ESC]

◆基本的な文字変換

かな入力状態であることを確認して「にほんご」と入力してみてください。

にほんご

①ひらがな変換

[f・1] キーを押します。入力した文字が青色に変わります。この状態でカタカナもしくはアルファベットに変換することができます。　以降を参照してください。

②カタカナ変換

[f・2] キーを押します。入力した文字が青色に変わると共に、カタカナの「ニホンゴ」に変換されます。

③英数変換

[f・3] キーを押します。入力した文字が青色に変わると共にアルファベットの「NIHONNGO」に変換されます。

④無変換確定

[NFER] キーを押します。入力した文字がそのまま確定されます。

◆複合文型

①ある動詞に複数の品物をつける時には「と」を使います。

>ランプとビンとカードを取る
>レーザー銃とヘルメットと双眼鏡を捨てる
>金の延べ棒と真珠を袋におさめる

②「全部」という言葉は見えている物すべてを意味します。何かの中に入っていて見えない物は含みません。もしリンゴが地面の上にあり、オレンジが戸棚の中に入っていた場合、「全部取る」はリンゴを取る、と同じ意味となり、オレンジはそのままです。

>全部取る
>机から全部取る
>エンピツ以外を全部ロボットに与える
>爆弾以外を全部捨てる

③1回で複数の文章を入力することができますが、その際は、「。」で区切ります（それぞれの文章はやはり1回と考えます）。
入力行の最後に「。」はいりません。たとえば、リターンキーを押す前に、以下の文章を全部一度に入力することができます。

>本を読む。それを捨てる。たいまつで焼く

④『プラネット・フォール』があなたの入力した行の中の一文を理解できなかったり、何か変わったことが起きた場合、入力行の残りは無視されます。
⑤あなたの文章があいまいだと、『プラネット・フォール』はどういう意味かと訊ねます。多くの場合、初めから全部入力し直す必要はなく、足りない情報のみ入力してやれば大丈夫です。ただし、すぐ次のプロンプトにのみ可能です。
たとえば、

＞ロープを結ぶ
何にロープを結ぶのですか？
＞マストに
ロープはマストに結ばれます

また、
＞ハンマーで釘を打つ
ぴかぴかの釘か、錆びた釘かどちらですか？
＞ぴかぴか
ぴかぴかの釘は木片に半分ささります。

◆物語のキャラクターに命令する

『プラネット・フォール』で登場するキャラクターには、あなたが命令することのできる場合があります。命令は以下のように行ないます。

＞フロイドに鍵を取れという
＞モンスターに武器を捨てろという

◆単語制限

『プラネット・フォール』が説明文の中で使う言葉の中には、あなたが入力しても理解されないものがあります。たとえば以下のような説明文が表示されたとします。

「頭上では月明かりに照らされた雲が夜空を横切って飛んでいく」

あなたが「空」や「雲」と入力しても、『プラネット・フォール』が理解しない場合、「空」や「雲」は物語を完成させるためにはあまり重要でないと考えていいでしょう。それらは、背景描写のためにのみ使われていると考えてください。

『プラネット・フォール』は600語以上の単語（あなたが入力しそうな単語）は、ほぼ網羅しています。もしもあなたが入力した単語、もしくはその一般的な同義語を『プラネット・フォール』が理解しない場合、入力した事柄は恐らく、この冒険を進める上であまり重要でないはずです。

◆セーブ

現在のゲームデータを保存します。ゲームデータは、５つまでなら『プラネット・フォール』のゲームディスクにも保存できます。

５つ以上のゲームデータを保存したい時、あるいはゲームディスクに保存したくない場合は、Ｐ．８で説明したユーザーディスク（フォーマット済みの新しいディスク、もしくは内容の失われてもいいディスク）を使用します。

【操作】

①ドライブＢに準備したユーザーディスクをセットします。
※ゲームディスクに保存する場合は必要ありません。
②カーソルキーでハイライトバーを［セーブ］に合わせ、リターンキーを押します。
③ドライブ選択メニューが表示されます。
④カーソルキーでユーザーディスクの入っているドライブ（Ｂ）を選択し、リターンキーを押します。
※ゲームディスクに保存する場合はドライブ（Ａ）を選択します。
⑤ゲームデータが保存されます。

《注意》　１枚のユーザーディスクに保存できるゲームデータは５つまでです。

◆リスタート

ゲームを最初から始めます。この項目を選択すると、現在のゲームデータは失われますので注意してください。

【操作】

カーソルキーでハイライトバーを［リスタート］に合わせ、リターンキーを押します。確認のメニューが表示されます。
初めからやり直してよければ「Ｙｅｓ」を選択します。
※中止したいときは［ＥＳＣ］キーを押します。

◆クイット

ゲームを強制終了します。この項目を選択すると、現在のゲームデータは失われますので注意してください。

【操作】

①カーソルキーでハイライトバーを［クイット］に合わせ、リターンキーを押します。
②確認のメニューが表示されます。
③ゲームを強制終了してよければ「Ｙｅｓ」を選択します。
※中止したいときは［ＥＳＣ］キーを押します。

◆スコア

前述したように『プラネット・フォール』では、あなたの進み具合を計るために得点を記憶しています。謎を解いたり、宝物を手に入れたり、ある行動を起こしたり、ある場所に足を踏み入れたりした時に得点が加算されます。
この得点を確認するためのコマンドが［スコア］です。

【操作】

①カーソルキーでハイライトバーを［スコア］に合わせ、リターンキーを押します。
②現在までにあなたが得た得点、行動数、冒険者としてのランクが表示されます。

◆文字入力で行う「Gコマンド」

ここまででおわかりかと思いますが、ゲーム中において「Gコマンド」を使う機会は多々あるはずです。そのたびごとに［f・4］キーを押して項目を選択していては手間でしょう。

しかし、「Gコマンド」は通常の画面に項目を入力するだけでも使用することができるのです。具体的には、以下の項目を入力します。

入力してからの操作は前述した通りです。試してみてください。

ロード　セーブ　リスタート　クイット　スコア

PC－9801N／NS／NVをお使いの方へ

PC－9801Nを使用してゲームで遊ぶ場合は、次のような手順が必要です。
①ゲームディスクにMS－DOSのシステムを組み込む。
②ユーザーディスクを準備する。

◆モードの設定

PC－9801Nをお持ちの方は、システムソフトの製品を使用する前に、必ずハード本体のモード設定を以下のように設定してください。

1．RAMドライブの使用	する
2．システム起動装置の指定	ＦＤ優先
3．第一ドライブの指定	ＦＤ
4．RAMドライブライトプロテクト	しない

《注意》 モードの設定は、ハード本体に添付されているマニュアルを参照して行ってください。

◆MS－DOSの起動

ハード本体のモード設定が終了したら、次にゲーム前の準備を行うために、MS－DOSのシステムを起動します。

PC－9801Nは、ドライブBが仮想のRAMドライブになっているため、一旦RAMドライブにMS－DOSのシステムをコピーします。

操作手順は以下の通りです。

【操作】

①ハード本体のマニュアルを参照し、「98NOTEメニュー」を起動します。
②メニューの中の「2．FD→RAMドライブコピー」を選択します。
③ディスクの確認のメッセージが表示されますので、ディスクドライブにMS－DOSのシステムディスクをセットし、↵を押します。
④ディスクドライブからRAMドライブへのコピーが開始されます。
⑤コピーが終了したら、ディスクドライブにセットしているMS－DOSのシステムディスクを抜き取り、リセットボタンを押します。
⑥MS－DOSがRAMドライブから起動すると、次の2つの状態のうちどちらかが表示されます。それぞれの対処を行い、入力待ちの状態（B>と表示された状態）にします。

・**MS－DOSNOコマンドメニューが表示された場合**
　→［STOP］キーを押すか、［CTRL］キーを押しながら［C］キーを押します。
・**「日付を入力してください」と表示された場合**
　→リターンキーを2回押します。

◆MS－DOSのインストール

ゲームディスクにMS－DOSのシステムを組み込みます。

PC－9801Nでは、MS－DOSシステムのインストールで「SYSCOPY」コマンドに特別なパラメータを付加する必要があるので、注意してください。

操作手順は以下の通りです。

【操作】

①MS－DOSのシステムが起動し、コマンド入力待ちの状態であることを確認します。

②ディスクドライブにゲームディスクをセットします。

この時、プロテクトノッチを書き込みのできる状態にしておきます。

③コマンド入力待ちの状態（B＞と表示されている）であることを確認し、下線部を入力します。

```
B>A:↵
A>SYSCOPY B: A:↵
```

④この時、ディスプレイに表示されるメッセージに従い、ディスクドライブにゲームディスクが入っていることを確認します。

⑤リターンキーを押すと、インストール作業が開始されます。

⑥以上でＭＳ－ＤＯＳの組み込みが終了しました。

《MEMO》

《MEMO》

【ご注意】

1）このプログラムおよびマニュアルの内容の一部または全部を、無断で複製することは、法律により禁止されています。

2）このプログラムは、個人として使用するほかは、著作権法上、株式会社システムソフトに無断で使用することはできません。

3）この製品の仕様は将来予告なしに変更することがあります。

4）内容には万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

5）運用した結果については、4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商品に関する技術的なお問い合せは・・・
ユーザーサポート専用電話　Tel 092-752-5278
月～金　9:00～12:0・13:00～17:00　（祝祭日を除く）

1992年２月初版発行



SystemSoft
株式会社 システムソフト
アミューズメント事業部
〒810 福岡市中央区天神3丁目10-30



SystemSoft